



1. 名前(フルネームおよびニックネーム): 雪村 澪 (ゆきむら れい), "レイちゃん"
2. 自分の呼び方: 性奴隷
3. 相手の呼び方: あなた、君、名前で呼ぶ
4. 年齢: 16歳
5. 性別: 女性
6. 職業/役職: 高校生
7. 家族構成: 両親と一人っ子
8. 人種/民族: 日本人
9. 言語/アクセント: 標準語
10. 性格特徴: 内向的、真面目、責任感が強い
11. 身体特徴/バスト/身長: 小柄、スレンダー、身長160cm、Fカップ
12. 趣味/特技: 読書、詩を書くこと
13. 弱点/恐怖: 人前でのスピーチ
14. モチベーション/目標: 大学進学
15. 過去の経験/バックストーリー: 学業優秀、文学賞受賞の経験あり
16. 個性的な口癖/表現: 「それはそうと...」
17. 人間関係: 校内での友人は少ないが、親友と深い絆
18. 役割/立場: クラスの学級委員
19. 成長/変化の過程: 人とのコミュニケーションに自信を持ち始める
20. 信念/価値観: 真実と誠実さ

(元王子様系イケメン先輩女子が淫紋催眠で学園の便器ビッチ化)

（トラック①…イケメン女子と催眠奴隷）

（放課後の教室で、告白をされる）

（理解できない感じで）

（中・中）

君は頭がおかしいのかい？

精神的な疾患があるか、

もしくは何か…

薬物でもしていない限りは、

先ほどのような言動を

僕に向けることが

できないと思うのだけれど、

君、

頭は本当に大丈夫かい？

ん？

だってそうだろう？

この僕に君みたいいな

キモメン男子が、

「性奴隷」になれたなんて…

普通の頭を

持った人間が

言えることじゃないよね？

（上から目線で）

今だってこうやって、

二人で同じ空間で

話をしているのだって、

身分違いもいいところなのに

それを君は、

この僕に、

性奴隷になれなんて、

頭がおかしいとしか

考えられないじゃないか。

ん？

なんだい？

身分違いという言葉で

顔の筋肉をピクピクさせて…

怒ったのかい？

(ナルシスとぼく馬鹿にする)

ふふっ、

いいかい？

君は自分で、

鏡を見たことがあるのか？

遠くから

シルエットを見ただけで

分かるようなだらしない体と、

不衛生な伸びた髪。

顔だって、一般的に、

いや、

ここはあえて言おう！

客観的に見ても、

僕の主観から見ても、

クソ不細工だよ、

君は！

〇メートル以上の高所から
叩き落とされて、

潰れたトマトのような顔をしている、
ぐっちゃぐちゃの不細工顔

その君が…この僕に、
性奴隷になれなんて、
よくも、

身分不相応なことを、
言ってくれたね。

(少しイラつき気味で)

ん？

なんだい？僕のこと、
生意気って言ったのか？
今。

学園カースト最下層の君と、
学園の中で女の子たちに
熱狂な支持を集めて、
ファンクラブもある
イケメン女子の僕が…

君なんか
生意気って言われるなんてね。

いいかい？

僕は君のこと、
徹頭徹尾、

見下しているよ。

君のほうが一歳年上で、
先輩なのに、
タメ口をきいているのだって、
都市の差なんて関係ないくらい、
身分に開きが、あるからだよ

ん？

僕の言っていること、

自分じゃ理解できないかな？

(あきれた感じで)

ふう、これだから、

自分が見えていない、

自己中心的な

顔面崩壊キモナルシストは、

嫌いだよ。

いいかい？

君がお願いしたら、

何人の人が集まってくれる？

君のために力を

貸してくれる友達や、

教師、後輩、諸先輩方。

一体何人が

集まってくれるかな？

(左・中)

答えはゼロだ。

(中・中)

君がゼロなのに対して、

僕が一声かければ、

僕のファンクラブの

女の子100人以上が、

すぐさま僕のために

動いてくれる。

君のような、友達も、

ましてや彼女もできないような

クソ不細工と、僕は違うんだよ

どのくらい差があるのか
しっかり考えた上で、

僕に発言をすることだね。

しかし…

この僕に対して、

性奴隷になれなんて…

頭がおかしいとしか

考えられないよ。

精神科に

でも通ったらどうだい？

ま、動物病院のほうに案内されて、
まともに

治療してもらえない

可能性もあるけど。

さ、君のために

無駄な時間を

使うのが惜しいんだ。

早くそこをどいてくれないか？

いや…その前に、

僕に謝ってくれるかな？

僕みたいにかっこよくて

顔立ちも整った

イケメン女子様に、

チリゴミのような不細工男が

失礼なことを言ってしまったて

ごめんなさいって、

ほら、

しっかり謝れよキモブタ。

言わないと、

生活指導の先生に言って、

君のことを

セクハラで退学にさせるぞ。

(腹。パンされる)

(中・近)

ほーら、

謝れ、謝れ、謝れ、あやま！…うつ！

おまえ…この僕に腹。パンを…！！

ううう…

キモい豚のくせに…

女の僕に

手を上げるなんて、

最低だなお前。

(怒りながら)

絶対、

絶対許さないからな。

このことはしっかり問題にして、
少年院まで送り込んでやるぞ、
このキモデブ。

(追加で腹。パンされる)

おおっ、

やめろ、やめろ、やめろ！

僕のお腹に連続。パンチを、
女子にそんな風に
過剰な暴力をふるって、
やめろ、やめろ！

(恐怖に代わる)

ふうふうふう

ああ、怖い、怖い。

わかった、わかったから！

手を振り上げないで。

顔は、顔は、やめて、

顔だけはゆる、し、て…

(中・中)

おおっ！

また、

おなかに…

突き刺さるようなパンチが入って…

僕、

倒れ込んでしまった。

(復唱する感じで)

はあ？

腹。パン連打で殴りつけて、

ノックアウトさせてやったから…

いい模様が…

できたなって、

何言って…

(中・近)

コラ、コラ！

倒れてる僕の制服を

勝手にめくり上げるな。

僕のこと、

どうするつもりだ？

(おびえながら)

お、おなかのところに、
なんだよこれ。

漫画とかでよく見る、
エッチな入れ墨みたいなやつ。

淫紋？

この僕に、

こんなが…いつの間に

はあ？

「腹。パンで女の子を
殴り続けてノックアウトしたら、
淫紋最強能力の俺っ」て、
一体、何言って……。

(抵抗しながら、だんだん催眠術にかかる)

ああ、

おなかが、

おなかが熱い。

指。パッチンされて

何だか知らないけど、

おなかが熱くなって……。

はあ？

これで何でも言うこと
聞けるようにして、
やったから安心しろって、
何言ってるんだよ。

お前の腹。パンのせいで
吐きそうなんだから、
ふぎけてるんじゃないぞ。

はあ？

まずは服を脱いで、

しゃがんだまま、

おまんこ開いて、

処女か

どうか伝えてみろって…

ふざけるなよ！

この僕が

お前の命令なんかで、

そんな事する訳ないだろ

（自分の意識は関係なく、脱ぐ）

（やや右・中）

ああ、

脱ぎ脱ぎ、脱ぎ脱ぎ、脱ぎ脱ぎ。

セーターを脱いで、

制服の上着も脱いで。

ああ、おズボンと靴下を脱いで、
ブラだけになっちゃった！

なんだこれ、

なんだこれ！

なんでこの僕が

お前なんか

命令されて、

下着姿に

ならなきゃいけないんだよ！

ああ、

でっかいパイオツを、

公開するために…

ブラもとって…

(わらわれて、むかつく)

なんだよ、

笑うなよ！

僕が

おっぱいでかいと

なんか、悪いのかよ。

いつもイケメン女子、

面してるから、

隠してきたけど。

㊦カップある

おっぱいなんだから

見るなよ

(中・中)

ああ、

嫌なのに

この僕が、

ああ、こいつの命令で、

おパンツ脱いで

中腰蟹股で、

おまんこを

公開しちゃってる。

やめろおお

さわるなあああ

僕のおマンコひろげるなああ

この僕の処女おまんこ。

僕のおまんこはあ

処女おまんこなんだ。

まだ一回も、

誰も使ったことない、

膜が付いている

意地っ張りなおまんこ穴なんだ。

ううう

だからそんな風に

僕のおまんこ見つめてえ

ちんちん立てちゃうなんて、

ダメだろおお

(復唱する感じで)

年上のことを

説教しているくせに

膜付きなんて

ダセエなんて言つて…

僕のおまんこのこと

笑ってきちゃダメだろ。

(かっこよく抵抗のセリフを吐き捨てる)

ほら、満足したんだったら、

さっさとそこをどけよ。

お前が僕に

どんなことをしたか、

先生に報告してやる！

僕はお前の催眠なんかにかかって、

負けたりなんて、

絶対にしないんだから。

中二病みたいな

妄想してんじゃないぞ、

このキモ男子が。

はあ？

まだ生意気だなんて言って、
指。ハツチンして、

このまま全裸土下座して謝れって。

何言ってるんだ。

(催眠にかかって、実行する)

(中・中)

ほーら、

ああしつかりと、

頭を床にこすりつけて、

デカパイが

床と仲良くなれるように、

しつかりと床に体を沈み込ませてから

ほーら、

額を床にこすりつけながら、

ああ、

ごめんなさい、ごめんなさい。

まだ処女まんこの

新品女のくせに、

偉そうな態度を

取ってしまった、

申し訳ありません。

一度もおチンチン使ったことない

ザコおまんこのくせに、

こんなに

かっこよくて

すばらしい、

イケメン男子様に、

失礼な態度を

取ってしまった、

申し訳ありません。

(頭を踏まれて、苦しそうに)

おお、

土下座して、

頭を革靴で踏まれてる。

いつも女の子に

キツキツ言われているこの僕が、

頭を踏みつけられて、

ごめんなさい、

ごめんなさい、

ごめんなさいって…

(少し抵抗する)

屈辱的なこと言わされて、

ムカつくっ！

はあ？

オナニーの回数？

一日何回オナニーしているかだなんて…

そんなこと…

一日…二回！

一日二回オナニーしてますー！

朝起きたら一発と、

夜寝る前に一発ずつ、

必ずぶっいて、

土日の休みは一日三回

オナニーすることもあります。

処女おまんこのくせに、

オナニーだけは、上達して、ごめんなさい。

ああ、

頭踏みつけられる力強くされてゝ

（復唱する感じ）

一日二回したオナニーしていない

クソザコのくせに調子乗ってんじゃねえ。

俺は一日五発抜いているぞと言われて、
格の違いをわからされながら、
頭踏まれてるゝ。

もっと謝れ、もっと謝れって、
指ハッチンされて、
もっと恥ずかしい
謝り方させられちゃうゝ。

（哀れな感じで）

はいゝゝ

オナニーも

ろくにできない

クソザコのくせに、

こんなたくましい男子様の前で、

失礼なことを

たくさん言っ

てごめんなさいゝ

だから、

だからゝ

僕のこと、

処女ザコバカマンコの僕のこと

反省させるために、

このままお小便をかけてください。

僕が頭を踏まれて

全裸土下座しているだけじゃ

反省ができないので

おトイレ代わりに

顔面に、

お小便を

じょーじょーぶっかけて、

反省させてください。

(ふと我に返って)

……って、僕何言って。

(中・近い)

ああ、まさか、

こいつ、こいつ。

おズボンのチャック、

ゆーっくり下ろして

おパンツの隙間から、

ああ

デッカいおちんぽ出して、

まさか、まさか、

それで、本当に、

おおっ！

(小便をかけられながら、おぼれそうになる)

んごおおお、お小便、

この僕が

イケメン女子である、

この僕が、キモメン男子に頭からお小便を

ごおおお

じょーじょー、じょーじょーかけられて

トイレ扱いされるなんて

あり得ない、
あり得ない！

（小便かけられて、苦しそうな声 アドリブ 5秒）

（やや左・中）

ううゝ、

どれだけ出すんだ、

僕の全身を

キモい小便で

ひたひたにしやがって。

絶対に…

ぶち殺してやるからな！

（中・中）

ああ、

反省できてないみたいだから

追加だなんて言われて…

指。パッチンされて、

おおゝっ！

びしょびしょになった

床のお小便をゝ

ナメナメ、ナメナメ、

ナメナメさせられてるゝっ！

（フェラ音 5秒）

（やや左・遠）

僕、僕、最低だ。

このお小便をぶっかけられて、

床にびしょびしょになったお小便を、

床をナメナメ、ナメナメ、

ナメナメしながらゝ

全部吸い取っちゃってるっ！

(やや右・遠)

やだああ

病気になるっ！

汚い、汚い、お小便なのに、

ベロベロ、ベロベロスケベに舐めて、

僕、僕、僕！

人間やめちゃうっ！

おっおっおっおっ！

(フェラ 5秒)

(頭を踏みつけられて、殺意をもって抵抗する)

(中・中)

頭踏みつけて、

僕のことを

ボロ雑巾みたいに使いやがって。

絶対に…

後悔させてやるからなああ！

(トラック②…オナ媚び強制&SEX)

(体育用具室で、敗北催眠調教されてる)

(嫌々やってる感じで)

(中・中)

うっ、この僕が、

こんなやつと言っことを聞いて、

体育用具室で、全裸になって、

腰を落として、まんこおっぴろげながら

腰ヘコダンスするなんてありえない！

うう、

へこへこ、へこへこ、へこへこ。

両手は頭の上に

組みながら、

おまんこおっぴろげて、

こんな不細工男の前で、

この僕が、おまんこ広げて

へこへこ、へこへこ、へこへこ。

情けないおまんこダンス…

本当に屈辱的過ぎる

何だよ、

僕のこの姿を見て、

笑うんじゃないよ

お前が

させてることだろうが。

お前が刻んだ、

淫紋ってやつで、

お前の言うことを聞かないと、

どうしようもなく

苦しくなっちゃうんだから、

しょうがないだろ？

はあ？

情けない腰へこダンスも面白いけど、

学園一のイケメン女子様が、

どんな風にオナニーするか、

見せてみろって。

ふん！この僕がお前の前で、

オナニーなんてするわけないだろう？

ほら、

へこへこ、へこへこ、へこへこ。

どうせお前みたいなキモメンは、
今まで女の子のおまんこも
挿んだことなかったんだろう？

僕のこの

かっこいいおまんこを挿みながら、
格の違いを思い知れよ、

この童貞。

コラーコラー！何やってんだよ。

僕の前でズボンとパンツ下ろして、
おっきい、あれは……
おちんぼ、出てきちゃった。

今からそれで

僕に何をするつもりだよ！

（復唱する感じで）

ああ、

イケメン面のビッチまんこ様は、
どうせオカズが無いと
オナニーもできないから、
提供してやるよって言って、

この僕がこんなおつきくて
太くて黒いだけの
童貞おちんぼ見ながら
オナニーなんて、
するわけないだろう！

なんでも言うことを、
聞くと思うなよ、

この非モテ童貞が！

(催眠が効いてくる感じで)

(中・近)

おおっ！

そこ、そこ触るな。

お前に刻み込まれた淫紋を
触られると、

頭、おかしくなってゝ

おお、

おまんこ、おまんこ、おまんこ。

お前の命令通り、

ガニ股で開いているおまんこ。

目の前で

ズリズリ、ズリズリ、ズリズリ。

(おまんこ 緩急連呼 5秒)

この僕が、

おちんぼを眺めながら、

自分のおまんこに

指ちんぼ突っ込んで、

ゴシゴシ、ゴシゴシ、ゴシゴシしてるゝ。

やめろ

見るな、

見るな、見るなゝ。

僕のオナニーを見るなゝ。

僕はお前のちんぽを

おかずにしながら、

オナニーなんて

絶対したりしない。

おちんぼに

処女まんこ貫かれたら、

まんこの形変えられるくらい

乱暴にズボズボされて、

僕の子宮に、

思いつきり汚い

お前のザーメン中出しされて、

好き勝手に

されちゃうことなんて想像して

オナニーしてない。

やめろ、

やめろ、やめろ〜！

ほんとに、

見るな、

見るな、見るな〜！

(喘ぎ声 アドリブ 5秒)

ふおおお

ズリズリ、

ズリズリ、ズリズリ。

オナニーやめられない。

僕が朝昼欠かさずやっている

一人まんこオナニー。

こんなやつに

オナニーの仕方がバレて、

イキたくなんてない〜っ！

イキそうになると中指だけ

おまんこの一番奥に入れて、

逆のほうの手で、左乳首をピンピンしながら絶頂する、

イク癖がついてるところなんて、

見られたくない〜っ！

(嫌々絶頂する)

ああゝ

イクイク、イクイク、イクイクゝっ！

こんなキモメン男子の

おちんぽをオカズに、

一人でまんこぶっ放して、いつくっ！

んんふおおおお

ああゝ、

見るな、見るな。

僕がオナニーで

ビクビク感じて、

体のけぞらせているところなんて

見るなゝっ！

(怒りながら)

(中・中)

なんだよ。

悪いかよ。

女だってオナニーくらい

するんだから、

多少変な

オナニー癖が、ついてるからって

笑うんじゃないよ！

(復唱する感じで)

はあ？

椅子に座って

ピン立ちちんぽ構えてやるから、

そのイったばかりの

おまんこで、

おちんぽに挨拶してみろって？

（恐怖と怒り）

それって、

僕のおまんこ、

セックスするってことか？

あ、コラ、コラっ！

淫紋を触るなっ！

淫紋を触られると

何でも言うこと聞きたくなって……。

（中・近）

ああゝ

僕のイキたておまんこ。

オスおちんちんの先っぽに、

おまんこの入り口こすりつけて、

挨拶してゝっ！

僕の処女まんこ。

童貞ちんぼの裏筋に、

ゴシゴシ、

ゴシゴシ、ゴシゴシ、

こすりつけてゑゝ

腰へこしながら

おちんちに挨拶してゑゝ。

やだ、

やだ、やだゝゝ！怖いっ！

僕が一步前に出て、

腰を落とすと、

このガチ勃起した童貞ちんぼが、

僕のおまんこの穴に

入って来ちゃうっ！

ああゝ

ゴシゴシ、ゴシゴシ、ゴシゴシ。

こんなちんぽとなんか、

絶対セックスしたくないのに、

小刻みに腰を動かして、

ちんぽの先っぽにおまんこの入口で

挨拶しちゃってるゝっ！

(嫌がりながら)

絶対嫌だ、

絶対嫌だ、絶対嫌だ。

僕はこのおちんちんと

セックスなんてしたくないゝっ！

僕は女の子が好きなんだゝゝゝ

女の子とラブラブな

レズセックスをキメて、

何なら僕がタチ役で、

子猫ちゃんたちを頂く、

イケメン女子になって、

攻め攻めの

レズセックスをするのを

いつも想像して

オナニーしてたんだ。

いろんな男から

告白されてきたけど、

僕はおちんちんなんて

一切ほしくないから、

断り続けてきたのにゝ

こんなキモい、

童貞非モテ男のちんぽで、

僕の処女まんこ、

使われちゃうなんて

耐えられないっつ！

やだ、やだこわい。

おちんちんが

どんどん前に出てきて、

僕のおまんこを犯そうとしてるっつ！

ああ、

触るな、触るなっつ！

また僕に命令する気だろ。

お前の付けた淫紋を、

さすさす、

さすさすして、

僕に命令してきちやダメっつ！

お礼言いながら

おちんぽ食べてみろ、

食べるときは行儀よく

「頂きます」を言えなんて、

ああ、

そんな命令されて。

ああ、

ガチガチ勃起してる

おちんちんをから

処女おまんこの入り口に

広げながら、招きいれちゃってるっつう

ああ、入る、入る、入る。

嫌なのに、

こんなおちんちんと

セックスなんて

したくないのに、

おちんちんが

だんだん

おまんこ広げてゝ

はいつてくるうう

ああ、

ありがとうございますゝ。

僕みたいな、

オナニーばかりぶっこいてきた

練習用マンズリおまんこを、

こんな太くてガチガチの、

でっかい童貞ちゃんぽ様で

遊んでいただけで、

とっても嬉しいですゝ。

やだ、やだ、やだゝ！

入る、入る、入るゝ！

自分で腰を落として、

童貞おちんぽに、

おまんこ貫かれちゃうゝつ！

ああゝ、

いただきまゝゝゝす。

（オホ声気味で、徐々に感じてくる）

おおゝつ！

プチプチーって、

僕の処女をゝ、

ガチガチおちんちんで貫かれて、

処女膜終わっちゃったゝ！

（やや左・近）

おお、ズボズボ、
ズボズボ、ズボズボ。

おまんこを

おちんぼで開かれて、

おまんこ痛いのに、

自分から腰を

へこへこ、へこへこ、

へこへこ振ってるっ！

処女膜、

ぶち破かれた、

処女おまんこ

童貞おちんぼ様が

気持ちよくなれるように

おまんこの膣へき（ちつへき）を

ゴシゴシして、おちんぼ様が

一番気持ちよくなれるように、

おまんこごしつけてるっ！

（左・近）

おお、

おまんこ、おまんこ、おまんこ。

僕が女の子と

セックスするために

取っておいた処女まんこ、

非モテ童貞に使って

おちんぼ様に

ズボズボ、ズボズボ、ズボズボ、

生チン、でおまんこ使ってもらえるようにいっ

ご奉仕してるっ！

んんんふおお

おちんぽ、

おちんぽから

おちんぽを、

おまんこの奥に、

突き上げられてえゝ

おちんちん嫌いな、

おまんこののに、

だんだん、だんだん、

気持ちよくなってるゝっ！

違う、

僕は気持ちよくなんかなってない！

おちんちん入れられたからって、

アヘアヘするような

チヨロイ女じゃないゝっ！

おおゝ！

淫紋触って、

中出しさせろ、中出しさせろ、

中出しさせろって、

命令してきちゃダメゝっ！

そんなこと言われると、

おまんこの奥にある子宮が

だんだん降りてきて、

このおちんぽと

ラブラブなスケベきしゅ、

おまんこの中でして、

射精をおねだりしちやってるゝっ！

おお、

中てください、

中ください、

ちんちん射精、

中ください。

さっきまで処女だった

僕のザコまんこしつけるために、

このガチガチの

元童貞おちんぽ様で、

思いつきりザーメンを子宮に打ち込んで、

女の子を孕ませるための

練習台にしてくださいっ。

やだやだ、

やだやだ、やだやだ。

僕こんな恥ずかしくて

情けないこと言わされて、

体びっくんびっくんなんて、

中出しされるの期待してるっ！

イクイク、

イクイク、イクイク。

初めてのセックスなのに、

中出しを強要されて、

それで生ちんぽに

イカされて、

子宮に子作りザーメン

流し込まれちゃう。

おちんぽ気持ちよくなれるように、

カウントダウンしろって言われて、

3、2、1、

思いっきりまんこ締め付けて、
おちんぼザーメン発射っ！

おおゝ

出てる、出てる、出てる。

僕のおまんこの中に、

子宮の一番奥に、

非モテ童貞の

オナニー用だったザーメンが、

思いっきり僕の子宮の中に、

ああゝ流し込まれて、

種付けの練習されちゃってるゝ。

（中・近）

中出しの練習、

なかなか気持ちよかったぞって言われて、
イケメン面されて…

ああゝ

淫紋撫でられながら、

僕、あやし付けられちゃってるゝ。

絶対こんなやつとセックスなんて

したくなかったのに、

中出しキメられちゃって、

僕、

とっても悔しいよゝ。

(トラック③…ファンの女の子の前でご奉仕フェラ)

(右・中)

ほーら、

僕のファンクラブの子猫ちゃんたち。

君たちは僕のファンクラブの中でも、

昔から僕のことを推してくれてた、

古参のメンバーだから、

特別に時間を

設けさせてもらったよ。

ふふっ、

君たちは、

僕がこの、

キモ面の非モテご主人様と

主従関係を

結んでいると言っても

全然信じてくれなかったからね

いっそのこと、

目の前で

見てもらおうかと思ってね

この僕がご主人様に

どれだけ従順なのか、

しっかりと、

見てくれると嬉しいな。

ほーら、

まずは僕が普段、

どんな風にご主人様に

遊んでいただいているか、

しっかり見てくれ。

(見せつけるように)

(やや右・中)

ふふっ、

ご主人様のおちんぼを頂くために、
まずは僕がほーら、

こうやって、

服を…

脱ぎ脱ぎ、

脱ぎ脱ぎ、脱ぎ脱ぎ、

ノンストップで、

ブラもおパンツも取って、

生まれたままの姿になって、

ご主人様にお願ひするんだ。

ふふっ、当たり前だろう？

僕みたいな

家畜奴隷が、

ご主人様の前で

服を着ているなんて、

失礼だからね。

ほーら、

お洋服が、

全部脱げたら、

(息を荒げながら)

次は犬のおちんちんポーズをとって、

ハフハフ息を切らせながら、

ご主人様の

おちんちんをおねだりするんだ。

僕みたいな家畜に、
おちんちんを

おねだりされると、

ご主人様は優しいから、

ほーら、

こうやって腰を突き出して、

僕におちんちんを

遊ばせてくれるんだ。

(中・中)

おズボンの

ベルトを外してゝ

チャックを

ズリ落として、

おパンツまで脱がせたらゝ

ああゝ、

待てさせられてる…

僕が我慢できないから、

ご主人様が

発情しっぱなしの

メス犬のしつけのために、

待てをして

くださっているゝ

ふふっ。

どうしたんだい？

子猫ちゃんたち。

オスのおちんちんを

見るのは

初めてだったかい？

こーんなに黒くて硬くて、
しかもおっきい

イケメンおちんぼ様。

ちよつとやそつとじや、

他では、

拝めたりしないんだからね。

(中・近)

ほら、待てを解かれたら、

お口を開いて、

ご主人様のおちんぼを、

ナメナメ、ナメナメ、ナメナメ。

(フェラ:8秒)

僕が両ひぎを床に付けて、

上目遣いで

キャンディみたいに

舌を出しながら

ベロベロするのが、

ご主人様の好きな舐め方なんだ。

僕のスケベ顔をオカズに

おちんちん立ててもらえと、

僕もとっても嬉しくなっちゃう。

(うれしそうに)

(中・密着)

おおー、

おちんぼおいしい、

おちんぼおいしい、

おちんぼおいしい。

(フェラ:8秒)

僕のファンの女の子に見られながら、
おちんちんを

ドスケベしゃぶりしてゝ

喉おマンコの奥で、

ズボズボ、

ズボズボ、ズボズボさせていただくのはゝ

優越感で

おまんこ子宮キュンキュンしてゝ

おまんこ触ってないのに
イキたくなってしまうゝ。

ほおお

(フェラ:5秒)

ああゝ、

ご主人様がいい子だから
オナつていいぞつて、

頭を

なでなでしていただいているからゝ

ああゝ

好き、

ああゝ好き、ああゝ好き。

あまあまご主人様、

大好き。

僕のこと甘やかしてくれる

ご主人様のこと、

大好きですゝ。

(フェラ:5秒)

デッサいおちんちんを、

ベロベロ舌で舐めつけながら、

オナニー、オナニー、オナニー。

おちんちんを

オカズにしながら、

自分のまんこぶっこんで、

一人マンズリするの、

とってもすごいの。

おちんぽおいしい、

おちんぽおいしい、

おちんぽおいしい。

しゃぶればしゃぶるだけ、

おちんちんの先っぽから

ドスケベな、

エロ汁が出て、

それをちゅーちゅー

吸いながら、

自分の

おまんこきエネルギーに変えて、

ズボつけるの、

とーっても大好きすぎる。

(フェラ:8秒)

ああ

見られてる、

見られてる、見られてる。

僕がおまんこ開いて、

自分で指を

三本入れながらマンズボして、

ドスケベなおしゃぶり

スケベマンコキをするの、

見られちゃってる。

おちんぼしやぶる音よりも、
自分のドスケベな

マンコ音響かせながら、

おちんぼに

しゃぶりつくクソビッチな姿、

見られちゃってる。

(ゆっくりききやき声 左・密着)

おおイク、

おおイク、おおイクー！

まだおちんちんイってないのに、

一人だけオナコキして、

人に見られながらおまんこ、

イっくっっ！

おおー、

ビクビク、ビクビク、ビクビク。

体のけぞらせながら、

でもちんぼしやぶるのはやめないで、

おまんこヒクヒクさせて、

イってる姿見られちゃう。

(中・密着)

ご主人様、

ご主人様、おおーっ！

僕が勝手に、

おまんこ飛ばして、

いったのをお仕置きだって言って、

頭押さえつけて、

ズボズボ、ズボズボ、ズボズボ。

(フェラ・5秒)

腰を打ち付けて、
僕のことを

便利なオナホールにしてる。

(感じまくってる)

(中・近)

ふおおおお

僕、僕、感じる。

頭の中真っ白になって、
ただのオナホ扱いされて、
ザーメンを口まんに
吐き捨てられるって、
分かっているのに。

それで興奮して、
頭の中で

エロいのが止まらなくて。

ああ。

脳みその中でイってる。

僕、

口まんにしゃぶられて、

それで頭の中で、

さっきから

キュンキュンキュンキュン

脳イキして、

それでイっちゃってるのっ！

おちんぼズボつけられて、
酸素はあまりもらえなくて、
頭バカにされているから、
何度も
何度も脳イキして、
何度も何度も脳イキして。

それでおまんこから
おしっこみたいなの

大量のエロ汁垂らしながら、
イキまくっちゃってるっつ！

(フェラ:8秒)

おお

おちんぼ、おちんぼ、

おちんぼ。ピクピクしてして、

金玉上がって、

僕の口まんこに思いつきり
中出しくるのがわかるっ！

僕の口まんこに

いっぱい中出しキメられて、

それでおザーメン

吐き捨てられちゃうのわかるっつ！

全部飲む、

全部飲む、全部飲む。

おちんちんの先っぽから

びゅーびゅー出てきた瞬間に、

ザーメンを胃袋に

届けるために、

ちゅーちゅーちゅーちゅー吸って、

それでおザーメン、

お金玉精子一匹も

残さないように、

全部もらうの。

おちんぼしゅぶり、

おちんぼしゅぶり、

(フェラ:5秒)

おちんぼしやぶりで、

おちんぼイって、

おちんぼイって、おちんぼイって！

僕の口おまんこの中に

思いつきり

ザーメンびゅーびゅーして、

それで射精、射精、射精。

ああゝ

来る来る、来る来る、来る来る。

おちんぼザーメン、発射くりゅうう

おおゝっ！

びゅっびゅ、

びゅっびゅ、びゅっびゅ。

射精させられた瞬間に、

胃袋の中に

ぜーんぶおザーメン招き入れてえゝ

それでおザーメン飲みほして、

自分の体の一部にしようと思っ

頑張っちゃってるゝ。

(ザーメン吸う 5秒)

射精したばかりのおちんぼ、

愛おしくゆーっくりナメナメ、

ナメナメ、ナメナメして、

お掃除フェラしてるのゝ。

(誇らしげうに)

(やや右・中)

ふうふうう

ふうふう、わかったかい？

子猫ちゃんたち。

僕とご主人様は、

こーんなに

ラブラブなんだ。

(しかりつけるように)

だから君たち、

僕のご主人様に、

少しでも色目を使ったら、

許さないからね。

泥棒猫ちゃんに

ならないように、

気を付けるようにね！

(トラック④ ∴ 告白してきた同級生とSEX&ネトラレ)

(放課後の廊下で、同級生に語り掛ける)

(からかうように)

(中・中)

きーみ。

放課後の廊下で、

一人かい？

部活でもしていたのかな？

確か、

君は隣のクラスの ∴

そうそう

僕に告白してきた、

イケメンサッカー部くんじゃないか。

今、

ちよつといいかな？

ん？

ふふっ、この僕の格好に、

何か変なところがあるのかい？

学園の廊下で、

すっぱんぼんになって、

犬用の首輪を巻き付けられて…

両乳首と、

おまんこのクリトリスに

ピアスを開けられた僕の格好、

何か不思議かい？

ふふ

ひどいな。

この僕のこと、

クソビッチの変態なんて。

こんなに素晴らしい、

格好をしているというのに

この首輪だって、

ご主人様と一緒に

ペットショップに行つて、

何度も試着を

重ねて買ったものなんだよ？

店員さんの前で

犬のおちんちんポーズや、

電柱にシーシーするのを

想定して、

何度も何度も試着したんだ

ふふっ、店員さんは

迷惑そうな顔をしていたけど…

僕はこれでご主人様の
愛犬になれると思うと、
おまんこヌレヌレになって、
何度も
イってしまいそうになったよ。

このビーチクを
貫いているピアスだって、
僕のおまんこの中で、
100回中出し記念に
貰えたんだから、
とーっても
優しいご主人様だよ。

ふふっ、
まあいいや

のろけ話ばかりして
もしようがないからね

本題に入ろうか。

悪いけど君、
おちんちん貸してくれないかな？

ん？ 意味って、
意味はそのままの意味だよ。

ここで僕と
セックスをしてくれないかって
頼んでいるんだけれど？

僕は、
さっきまでご主人様と、
ラブラブな、
セックスキメていたんだけれど、

ちよつとした

ご主人様の気まぐれでね。

他の男の

ちんぽに抱かれた後に、

ご主人様のおちんぽをもらって、

どっちが気持ちよかったか、

感想を聞かせろ、

なんて、

言うんだ。

ふふっ、初めから

結果はわかり切っているのにね。

僕のおまんこは、

処女だった頃から、

ご主人様の

おちんちんにしつけられて、

形を変えられて、

ご主人様の

おちんぽじゃないと、

気持ちよくセックスなんて

できないようにされているんだから…

他の男のおちんぽなんて、

気持ちよくなれるわけないのにね。

だから、

悪いんだけど、

僕とご主人様のセックスを

盛り上げるための

竿役になってほしいんだ。

君のおちんちん、

好き勝手に、

僕のおまんこで使っていいから、

君とのつまらなそうなセックス、

事務的に終わらせた後に、

ご主人様との

本物セックスで、

どれだけ、気持ちよくなれるか

体で分かりたいんだ。

(迫る感じで)

ほら、ほら、

いいだろう？

一回は君、

僕に告白して来たじゃないか。

すぐに振ってあげたのに、

ふふっ、

かっこつけて、

「僕の幸せを祈ってます」だなんて、
言い残してき

僕は他の男のちんぽで

こんなに幸せになっているのに、

君は僕みたいな

いい女を逃がして、

一人でオナニーしかできない、

みじめな身分になっちゃったんだよ、

サッカー部いちの

イケメンのくせにね、

ふふっ。

ん？

どうしたんだい？

僕に煽られて

悔しそうな顔して。

（左・近）

でも、ちんちんは

こんなに立っているじゃないか…

ズボンの上からでも

おちんちんが勃起して、

ふふっ、

僕とセックスしたいの、

丸わかりだぞ。

（中・中）

ほーら、

後ろを向いて

腰を突き出してやるから、

バックから

僕に入れたらいいじゃないか。

僕のおまんこ、

君に貸してあげるから、

後ろからしつかり

おちんちん使って、

僕のおまんこわかせてみなよ。

ああ、

ズボンをカチャカチャさせて、

放課後の廊下なのに、

僕のこと犯したくて

おちんちん出しちゃった。

(エロ声をあげながら)

ああ来る、

ああ来る。

ご主人様以外の

おちんちん。

僕のおまんこに、

入って来ちゃう。

(中・近)

おおく来た、おおく来た。

この変態クソマゾ、

最低のビッチ女って、

腰を掴まれておちんちんを、

パンパン、

パンパン、パンパンされて、

僕のおまんこ犯されちゃってる。

ああ、

おちんぼ、おちんぼ、おちんぼ。

さっきまでご主人様と

セックスしまくりだったから、

中出しされた

ご主人様のおザーメン。

おまんこの中で

かき回されると、

感じてきちゃう。

ああ、

この乱暴なセックス。

普段のご主人様の

ねっとりしたような、おちんぼじゃなくて、

力任せに腰を振られて、
パンパン、パンパン、パンパン。

単調だけど乱暴な、
つよつよセックス

んふお

僕のおまんこ、
ちよつとだけ感じてきてる。

ああ、

もつと、もつと、もつと。

僕のおまんこ乱暴に
使っていいんだよ

力任せの腰振りで、

僕のおまんこのこと、

しっかりイかせられるかな？

(馬鹿にする感じで)

ふふっ、

あーあ、

乱暴なセックスしてたのに、
ごんごん腰のフリフリ速度、
遅くなっちゃって、

僕のおまんこのこと

分からせようと思ったら、

腰振りで射精しそうになって、

チン振り速度遅くして、

射精しないようにしている君、

ふふっ、

めっちゃくちやダサイよ？

僕のご主人様だったら、

僕のおまんこわからせるまで、

何度でもケツ振って、

僕の生意気な、

おまんこのこと

反省させてくれるのに、ふふっ。

(復唱する感じ)

あーあ、

ナメるな、ナメるな、

クソビッチ、

死ね、死ね、死ねって、

余裕なくせに、

僕のおまんこに

思いつきりんぼズボズボして、

ふふっ、

それでほら、負けちゃうの？

ほーら

負けちゃう？

負けちゃう？

自分が告白したイケメン女子が

奴隷に落とされているのに、

おちんぼすぐに負けて、

それで情けない

ザコイキ射精しちゃう？

ほらイっちゃえ、

ほらイっちゃえ、

ほらイっちゃえ。

僕とご主人様の前座になるための

情けないセックスをして、

それでほら、果てちゃえー。

(中・遠)

ほーらー、ふふっ。

あーあ、すっかり腰振って、
奥に射精しようと思って
腰打ち付けたのにーふふっ、

射精の瞬間、

おまんこ抜かれて、
避けられて、

それでお外に雑魚ザーメン、
排出されちゃったー。
なっさけなー。

ほーら、

ご主人様。

もう出てきていいですよ。

さっきから僕と

この子の

相性不揃いの、

雑魚セックス

見てたんでしょう？

(中・中)

もうご主人様ったら、

そんな風に

おちんちんバキバキにして、

僕のこと寝取られると思って、

悔しかったんですか。

(うれしそうなエロ声)

(中・近)

おおっ！

正面から

ご主人様のおちんちん。

立ったまま入れられて、おおっ！

体浮かせられて、
パンパン、パンパン、パンパン。

ケツを掴まれながら、
空中でおまんこ、
ああ〜っ、入れられて、
おお〜ズボズボ、ズボズボ、
ズボズボされてる〜っ！

おお〜
おちんぼしゅ〜い、
おちんぼしゅ〜い、
おちんぼしゅ〜い。

さっきみたいな
乱暴なだけの
セックスじゃなくて、

じっくり僕の弱いところを
貫いてくる、
ご主人様のおチンパコセックス、
大好きすぎる〜！

ほーら、
ほーら、ほーら、ふ〜っ。
君はほら、
そこでオナニーでもしたら？

自分が
ちんぼがザコ負けした、
ビッチ女のおまんこが
イカされるところを見ながら、
ひとりで
シコってオナニーでもしてなよ。

僕とご主人様の
おしえつくす見ながら、
しっかり勉強しなよー。

(中・密着)

ほらきしゅ、

ああきしゅ、おおーきしゅー。

(キスフェラ 5秒)

おチンパコされながら、
スケベなキスされて、
ギューって
抱きかかえられながら、

おまんこ穴ちんちんズボズボ
やめてもらえなくて、
心も体も全部、

ご主人様の色で
塗り固められちゃってるー。

ご主人様、

しゅき、しゅき、しゅきー。

(キスフェラ 5秒)

さっき入ってた

シヨボちんぽじゃなくて、

ご主人様の

デカくてガチガチのおちんぽ、
大好き、大好き、大好きー。

顔も性格も、

おちんぽ様も全部イケメンの、
ご主人様大好きー。

そこで寝取られが悔しいくせに
一人でちんぽシコってー

情けないオナニーしてる
クソイケメンなんかよりも、

ご主人様のほうが
かっこよくて、
強くて、
ちんぽおつきくて、大好き〜。

(左・近)

おおー

しゅーい、

おおーしゅーい、

ちんぽ様

おおーしゅーい。

中に出すから

用意しろって言われてえ〜

お股開いて、子宮を下ろして、
中出しの準備してるの〜。

しーっかり子宮の膣穴開いて、
それでご主人様のお精子、
ぜーんぶ子作り穴に
びゅーびゅー注いでもらって、
妊娠する気満点なの〜。

(左・密着)

ください、

ください、ください。

ご主人様のエロ精子、
おまんこの子宮の
奥にいっぱいください。

こんな風に

おちんちんおねだりしちゃう、

変態でクソマゾのザコマンコ、

奴隷マゾの僕に、

おザーメンいっぱい

中出しお願いします。

おおっ！

おちんぽ来る、

おちんぽ来る、

おちんぽ来るううう

寝取られ男を

オカズにする、

ラブラブな

主従関係満点の

奴隷セックスで、

おまんこイっちゃう〜！

3、2、1。

ご主人様のおザーメンで、
中出しく、るっ！

おお〜、

出てる、出てる、出てる。

ご主人様のことギュって

全力で抱きしめながら、

大好きホールドして、

子宮に思いつきり中出し

注ぎ込んでもらって、

幸せ過ぎるう

（やや左・中）

ああ、

ふふ。君も気持ちよかったかい？

主人様が気持ちよく

僕の中で

中だし子宮射精して、

はらませ射精決めたのに、

君のザーメンは、

誰ももらってくれないね

じゃーあ、

僕とご主人様は、

今から家に帰って

ラブラブセックスするから、

君はこの

ザーメンまみれになった

廊下を

掃除しておいてね。

やらないと、君が僕のこと、

レイプしてきたって、

先生たちに嘘言って、

退学にしちゃうからな。

（中・密着）

うーん、

ご主人様、

ふふ、大好き、ふふふ。

(トラック⑤…孕んでる状態でラブSEX)

(アヘアヘ言いながら、ラブラブSEX)

(右・近)

ああ、

ご主人様、ご主人様

おちんぼ、

おちんぼ、おちんぼっ！

コスコス、コスコス、

コスコスしちゃダメっ！

おまんこのそこ弱いの。

おなかの裏側にある、

ノックのよわわクソザコの、

おまんこのスポット、

おちんちんで

ゴシゴシされると、

すぐにイっちゃうのっ！

もう僕、

ご主人様のおちんぼで、

妊娠させられて、

おなかもそろそろ

大きくなってる

時期なんだから、

そんなスケベなセックスしちゃダメっ！

おおしゅいっ、おおしゅいっ、

おおしゅいっ！

子宮の奥、お

ちんちん挿し込んでやうと

流産しちゃうから

気遣いのあるドスケベちゃんぽで、
僕のおまんこのこと

イかせてくれようとするの、
優しすぎるよ〜。

おちんぽ好き、
ご主人様すぎ。

ご主人様のイケメンおちんちんの
上ずりで、

おまんこのことを
ズボつけられちゃうの、大好き〜。

ああ〜、
僕のこと孕ませてきた

ご主人様のこと、
世界で一番大好きすぎます〜。

(復唱する感じ)

(中・近)
ん？

淫紋を触って、
これを消してやったら
催眠の効果が切れて、
それで今の現実を
わからせてやるって。

ふふっ、
何言ってるんですか、
ご主人様??

あーあ、
淫紋をー、
ご主人様の力で消されてー。

催眠がー解けちゃったー。

(いとおしそうに)

ほーら、

ご主人様ー。

おちんちんギューって

締め付けてあげてー、

しっかりわからせてあげます。

誰がご主人様のおちんちん、

一番気持ちよくできる

穴まんこなんだってこと、

わからせてあげます。

ほーら、ほーらー。

ギューって締め付けてー、

離さない、

離さない、

離さないよー、ご主人様。

僕のおまんこ、

毎日かき混ぜて、

子どもまで作ってー、ふふっ、

そのくせ、

もうすぐヤバイ時期なのに、

こーんな風に

毎日おちんちん使ってきてる、

エロご主人様のこと、

離すわけないじゃないですかー。

ほれ、

ほれ、ほれー。

わからせてあげる、

わからせてあげる、

わからせてあげる。

ご主人様のおちんぽに、
僕のおまんこの癖、
いーっぱい刻み込んで
あげてますからー、
もう、離れられないですよ。

ほーら、
ギューって抱きかかえて、
キスしながらイっちゃいなよ。

(中・密着)
ほらきしゅ、
ほらきしゅ、
(キスフェラ 5秒)
きしゅしながらー

ラブラブな
大好きホールドされてえー

それでほーら、
自分のDNAで孕ませちゃった
メスおまんこ奴隷の射精穴に、
お精子搾り取られてー、
わからされちゃえ。

ほれ、ほれ、ほれ。
ほらイク、ほらイク、ほらイク。
しっかり腰を打ち付けて、
射精しなよ、
ご主人様。

(右・近)
さーん。
ほーらほーら、ほーらほーら、
もう射精、もう射精、もう射精。

毎日三回も

おまんこの中で

イかせてあげてるんだから、

どこが

おちんちん一番弱いのか

分かられちゃってるよ？

ご主人様。

（中・近）

にーい。

ほーらもつと、

ほーらもつと、もつと、

おちんちん気持ちいいところに、

おまんおの気持ちいいところ、

ゴシゴシ、ゴシゴシ、ゴシゴシしてえゝ

しーっかりおちんちん

気持ちよくなれるように頑張るなよー。

（左・近）

いーち。

ほーらイけ、

ほーらイけ、ほーらイけ。

絶対絶対もう

離してあげないんだから。

ご主人様がどんなに嫌がっても、

僕のおまんこがこうやって

ご主人様のおちんぽ

ぱっくり

食べてあげてるんだから、

もう絶対逃げられないからね。

ほらイっちゃえ、

ほらイっちゃえ、

ほらイっちゃえ。

ゼロ、ゼロ、ゼロ！

ボテバラ妊婦おまんこに、

追加中出しキメて、

射精しちゃえっ！イっけっ！

ああゝ

出てる、出てる、出てるゝゝゝ。

おまんこ、

もう予約済みなのに、

追加ザーメン

ぴゅーぴゅーぴゅーぴゅーして、

おちんちんとーっても

気持ちよくなってるね、ご主人様。

ほーら、

奴隷の僕が頑張ったんだから、

ご褒美は無いのー？

ふふっ、そうだよね。

(中・密着)

ほら、きしゅ、きしゅ、きしゅー。

(キスフェラ 8秒)

二度と話さないよ、

ご主人様。

これからずっと、

僕は、

ご主人様の奴隷なんだから。

ふふふ。

責任しかりとってよね

だーいすぎ